

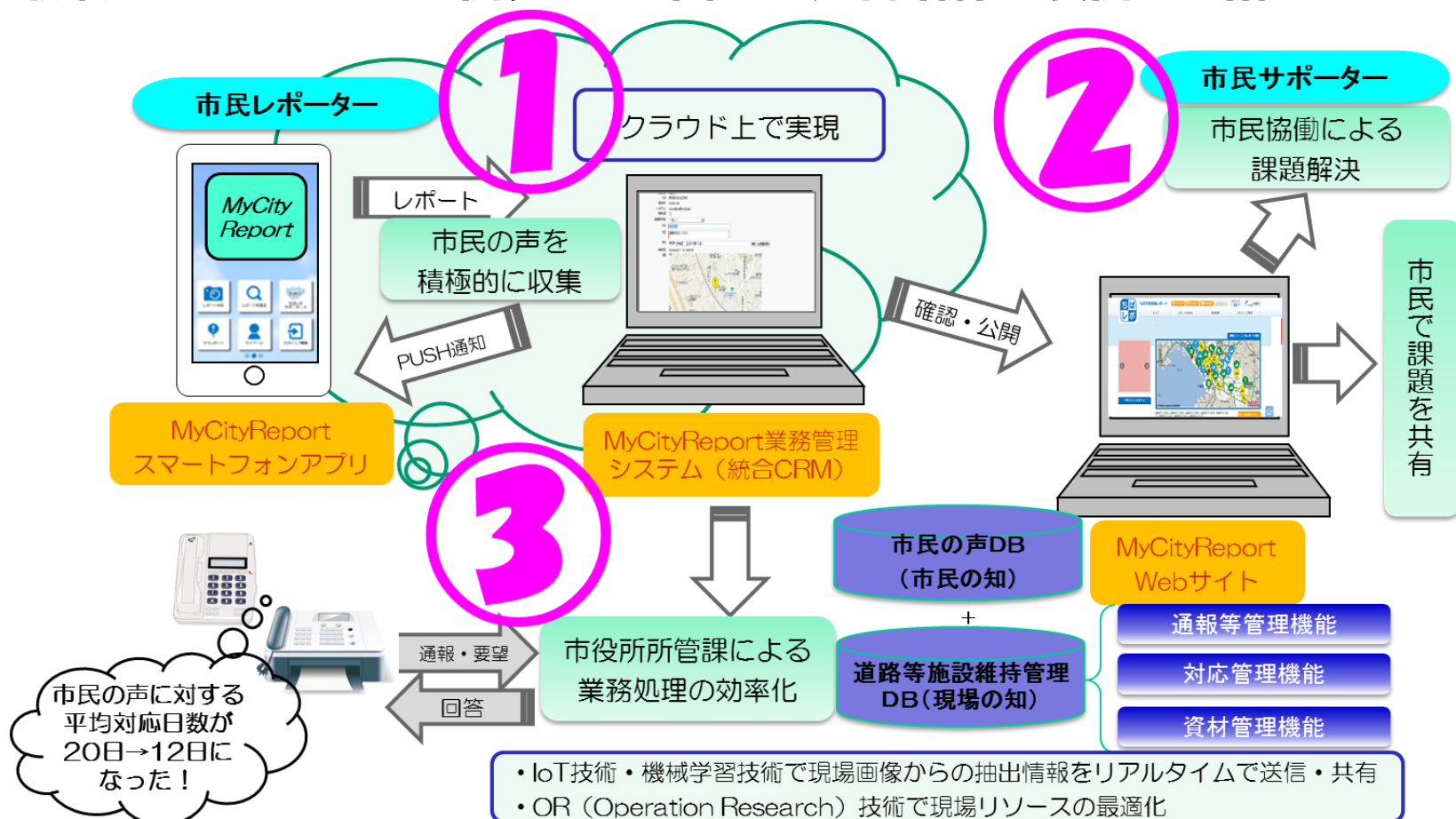


次世代インフラ市民協働プラットフォーム (My City Report)

【東京大学、合同会社Georepublicと連携】

次世代インフラ市民協働プラットフォーム (My City Report)

- 千葉市と全面的に連携し、「ちばレポ」をベースにしつつもさらに機械学習、IoTや最適資源配分等の機能を組込んだオープンソースベースの次世代型の市民協働プラットフォームを開発し、全国の地方自治体に展開を目指す





もちろん、市民だけでなく行政も頑張る

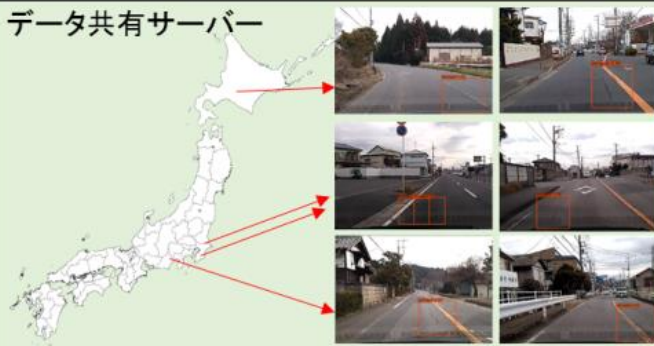
- AI、IoTで道路管理車両等に搭載したスマホから自動的に傷を検出し、サーバーで共有。その後、道路管理者が傷の程度を確認し、教師データに。

スマホアプリ



- ・スマートフォンカメラで道路路面を撮影。
- ・深層学習モデルを用いて損傷候補フレームの範囲と程度を判定し、サーバーに自動送信。

データ共有サーバー



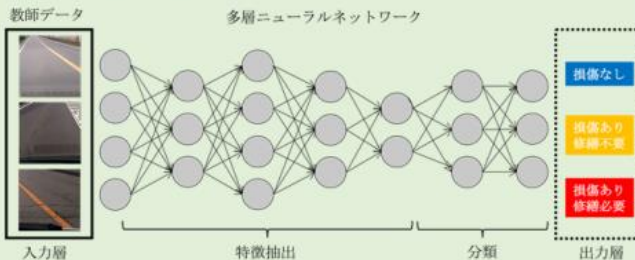
- ・各参加自治体の取得画像を共有。
- ・取得画

最新の学習モデルをスマホに送信

学習用サーバー

教師データ

多層ニューラルネットワーク



入力層 特徴抽出 分類 出力層

- ・日々蓄積される教師データで、モデルを学習させ、さらなる精度向上を目指す。
- ・自治体ごとの管理水準を自動抽出する

損傷を含む画像のみを送信

道路

Webツ

教師データを日々蓄積

・道路管
ルを確認



My City Report
for citizens

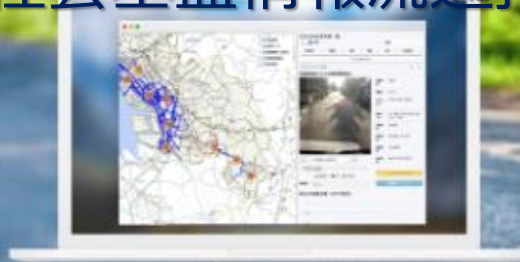
市民協働投稿サービス



祝！MCRコンソーシアム運用開始（2019年4月）

道路損傷検出サービス

（一社）社会基盤情報流通推進協議会





入会・運用状況

自治体名	市民投稿	道路損傷	入会日
千葉県千葉市	2019年9月2日	2019年9月2日 (試験運用)	2019年4月
滋賀県大津市	×	2019年6月20日	2019年4月
石川県加賀市	2019年6月1日 (試験運用)	2019年9月15日 (試験運用)	2019年4月
和歌山県	2019年9月2日 (試験運用)	×	2019年6月
岩手県花巻市	×	2019年8月1日 (試験運用)	2019年6月
広島県東広島市	2019年11月1日	2019年11月1日	2019年8月

運用状況（千葉市台風15号で活用！）



[ホーム](#) > [市政全般](#) > [広報・広聴・市民参加](#) > [広聴](#) > [ちばレポ（ちば市民協働レポート）](#) > 【ちばレポ】集水ますのつまりの一点検、枝等の清掃にご協力ください。

ちばレポ（ちば市民協働レポート）

- [総務省「地域情報化大賞」奨励賞に選出!](#)
- [ちばレポ教室開催のご案内](#)
- [第9回マニフェスト大賞優秀賞に選出!](#)
- [テーマレポート「まちの中のジエフを探せ！」（終了しました）](#)
- [テーマレポートとは](#)

更新日：2019年9月13日

【ちばレポ】集水ますのつまりの一点検、枝等の清掃にご協力ください。



台風15号により大量の枝葉が散乱しています。集水ますのつまりの一点検と歩道に散乱している枝等の清掃にご協力ください。

ご自身で対処できるものは「かいけつレポート」で対応が難しいものは「こまったレポート」で投稿してください。

レポートする際は、周囲の安全に注意して投稿をお願いします。

参考：[集水ますとは](#)

投稿の手順





MCRが自治体横展開の典型として9月3日自治体ピッチで紹介

第1回 自治体ピッチ プログラム概要

第1部 13:20~14:30

AIを活用した業務支援

13:20 - 13:40 My City Reportコンソーシアム 次世代型市民協働プラットフォーム「My City Report」
市民投稿サービス (MCR for citizens)とAIを用いた道路損傷検出サービス (MCR for road managers)

13:45 - 14:05 国立研究開発法人産業技術総合研究所 児童虐待対応の質の向上を支援するAIソリューション「AiCAN」
関係機関との情報共有と、データに基づくリアルタイム意思決定支援プラットフォーム

14:10 - 14:30 富士通株式会社 会議録作成支援ソリューション
AI活用による会議録作成を容易に実現



東京都の大学研究者による事業提案制度に選定 (MCR+MCC:2019~2021年度)

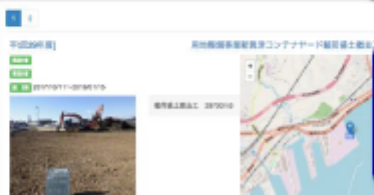
インフラ運営の透明化に向けた ICT・AIを活用した市民協働システム

道路、公園、公共施設など、都政に関わる様々なインフラ運営事業に対して、その透明性を確保し、都民に積極的に関わってもらえるよう、市民協働の観点を組込んだ、ICT・AIを最大限活用したインフラ運営に向けた新しい情報基盤の構築。

道路の点検業務の効率化



公共工事データの迅速なオープン化



スマートフォンによる市民投稿・参加



市民協働の観点を組込んだ
インフラ運営の透明化